

## 平成 27 年度第 3 回 こどもチーム会議 (H27.10.2)

### 報告

市民（保護者会の方々）との情報・意見交換会を行い、こども総合支援室、パーソナルカルテ等についてご意見を聞かせて頂きました。

また、こどもチームとして他市の発達支援室の視察を行うための検討を行いました。

#### **1. 市民との情報・意見交換会**

参加いただいた方々より、以下のようなご意見を聞かせて頂きました。

##### **●こども総合支援室**

###### 今から出来る事：

- ・総合支援室は時間がかかるが、今からでも出来る事に取り組むことでベース作りをしていき、スタートをスムーズにさせる事が重要。
- ・保健、福祉、教育等で、定期的な情報共有会議を開催したり、共通理解をするために一緒に現場に行き、一緒に感じる機会を作っていくこと等が総合支援室に繋がっていく。

###### 連携の在り方：

- ・こどもは、学校だけでなく家や福祉施設でも過ごしているため、当然連携が必要である。
- ・一人のこどもをどう繋げようかと真剣に考えて、それぞれのプロが情報を公開し、各専門性を持って、壁を越えてもらいたい。

###### 発達支援システムアドバイザー（県立小児診療センターあすなろ学園の研修修了者）への期待

- ・これまで派遣された保育士や保健師に加え、教諭を派遣することが必要。こどもの相談や親としての相談に加え、教諭体験をもとに先生の相談も聞けて先生の立場も踏まえたアドバイスが出来るシステムアドバイザーを養成していく事が必要。
- ・一人のアドバイザーが全ては担えないので、複数のアドバイザーが力を合わせられる体制が必要。

###### 相談・寄り添い：

- ・家族等が悩みぬいてからの相談ではなく、身近に相談出来ることが必要であり、支援学級の先生等を支えて、どの学校でも相談に乗れる体制等を作っていくことが必要である。

###### 5歳児検診： グレーゾーンの子、発達障がいのある子の課題が出てくる5歳時検診をしてほしい。

中学以降の不安： 小学校に上がる時には繋がってきているが、中学に上がる時以降が心配。CLMの小学校入学時の引継を、中学入学等それ以降の引継の際にもしてもらいたい。

将来・成人へ： 環境の良さで二次障がいを持たずに成長できるようにしたい。

##### **●パーソナルカルテ**

###### 現状：

- ・支援学級の先生等の全体に浸透しておらず、親が理解してもらおうと苦勞して記入しても、学校の対応はそれに応えられていない現状。教育委員会が示したもののなのに、教育で必要とされていない。
- ・誰に見せる想定のものなのか？利用先はどこなのか？どこで活用されているのか？分からない。

###### 記入書式・分類：

- ・伊勢はざっくり大まか過ぎて、何を書いて良いか分からず、書きにくい。津市の出来る出来ない等のチェック方式を一部修正して（出来る→出来る時もあるという表現に）取り入れてもらいたい。

- ・支援センターブレス（療育等支援事業）が作ったタグ付があると、必要書類を挟み込む際に分類が出来やすく分かりやすい。

#### 年齢等の区分け：

- ・就学前・小学校等と別れていたり、学年ごとに分かれていると記入しやすい。

#### 先生との連携：

- ・先生も記入出来る欄や、先生に教えてもらって書く欄を作ったり、あるいは先生にもパーソナルカルテの見るポイントを教えてあげたりすることで、先生方の理解や意識も向上するのではないか。
- ・個別の教育支援計画を作るのに、パーソナルカルテを参考にしてもらい、連動できると良い。

#### 行政側の管理へ：

- ・保護者管理ではなく、行政が継続して管理していくものがある中で、必要時にはそれをもとに親子ともに支援を利用出来たり、継続的な支援を受けられる方が良い。

#### 引継ぎの仕方：

- ・園や学校が情報を引き継ぐ時に、親や第三者が参加できると良い。システムアドバイザーが各園や学校に行って伝え引き継ぐ形が本来である。

### **●その他**

#### 自立支援協議会（こどもチーム）：

- ・こどもチームに教育委員会がなぜ入っていないのか。教育との橋わたしをしてもらいたい。
- ・こどもチームの議論が、本会への報告の際に萎んでしまわないように、こどもチーム委員が本会報告を行ってはどうか。

## **2. こどもチーム会議**

### **●こども総合支援室の視察**

#### 視察先：

- ・行政と同じところを見て、提案できるように、名張市への視察とする。

#### 名張市の状況：

- ・発達支援室、教育、療育センター等がすべて同じビルに入っている。

#### 視察のポイント：

- ・発達支援室設立の経緯、専門職の体制整備の経緯、引き継ぎ、ツール、連携の取り方、5歳時検診、就労に向けて 等を確認し、伊勢市でどういう形で出来るのか等を検討する材料としていく。

### **●今後について**

- ・今回の情報・意見交換会の内容を骨子にしなが、こどもチームでの上記視察も踏まえ、チーム委員でもあるべき姿の議論を行い、本会への提案を早期に具体的にまとめていくこととすることを確認しました。